

チーム九谷展VI
四季、春夏秋冬
令和4年11月2日(水)～8日(火)

昭和四十三年、ノーベル文学賞を受賞した川端康成は「美しい日本の私」と題して記念講演を行いました。その中で『日本美術の特質』の一つとして、『雪月花の時、最も友を思う』という矢代幸雄（美術史家）の詩語に「約められる」と言っています。そして「雪の美しいのを見るに、月の美しいのを見るに、つまり四季折り折りの美に、自分が触れ目覚める時、美にめぐりあう幸いを得た時には、親しい友を切に思われ、このよろこびを共にしたいと願う、つまり、美の感動が人なつかしい思いやりを強く誘い出すのです。（中略）そして日本の茶道も、『雪月花の時、最も友を思ふ』のがその根本の心で、茶会はその『感会』、よい時によい友どちが集うよい会なのであります」と語っています。美を発見し表現するということは、その感動を誰かと共有したいということでもあります。私は、日本人の美も思想も日本という自然（環境）の産物だと思っています。その自然を最もよく表しているのが、今展のテーマでもある「四季、春夏秋冬」の風景です。

福永幾夫氏の《色絵細密麒麟鳳凰図水滴》は、青海波をバックに麒麟と鳳凰を九谷の五彩で描いた力作です。小品ですが、九谷の魅力の詰まった楽しい作品です。

見附正康氏の《赤絵細描小紋茶盃》は、超絶技巧と呼ばれる赤絵細描に九谷の和絵具の青を入れたモダンな図柄の茶碗です。

南 繁正氏の《蓮池Ⅰ》は、南グリーンと呼ばれる美しい緑の蓮葉と淡いピンクの蓮華に、可愛い雨蛙の取り合わせがユニークです。

牟田陽日さんの《青釉白象謳夏図》は、釈迦が生まれる際、その母は白象がお腹の中に入った夢を見て妊娠を知ったと言われていますが、白象は東南アジアでは神聖視される動物です。夏の季語である枇杷や草花が描かれた、その濃密な描写はまさに現代の九谷焼です。

齋藤まゆさんの《結晶》は、五つの結晶体の間に小さな透かしを入れて光が感じられるよう工夫され、彼女の独自の世界を表現しています。

田村星都さんの《細字古今集和歌梅文鳥摘香爐》は、家伝の九谷毛筆細字技法による香爐作品で、散らし書きの間に細字で和歌を書き込み、梅の絵と鳥の摘みで春を表現しています。

中田博士氏の《真珠光彩壺》は、独特な輝きを放つ真珠光彩の壺で、六つの稜線が緊張感あるフォルムを創り出しています。

中田雅巳氏の《SEN碗(黒)》と《SEN碗(黄)》は、素地の上に異なる色の化粧土を塗り、針で線を丁寧に掻き落とした繊細な手法の作品で、口作りの歪みが独特なフォルムを作り出しています。

谷敷正人氏の《鷺の壺》は、日本の田舎を旅すると、よく鷺の姿を見かけますが、そんな鷺に盛り花を取り合わせた新鮮な図柄です。

吉田幸央氏の《金襴手彩色鉢》は、何層にも上絵を塗り重ねて生まれるモダンな意匠で、草木をイメージしたグリーンと、水をイメージしたブルーによって、自然のサイクルの不思議を表現しています。

造形で表現する人、文様で表現する人、技法は様々ですが、各々の作家が「四季、春夏秋冬」をイメージした作品が出品されます。なかには、色や線といった抽象的な方法で表現する人もいます。それぞれの「四季、春夏秋冬」をお楽しみください。

森 孝一

（美術評論家・日本陶磁協会常任理事）



齋藤まゆ

Saito Mayu

平成 5 年 東京家政大学 卒業
 平成 11 年 石川県九谷焼技術研修所 卒業
 平成 20 年 金沢卯辰山工芸工房陶芸工房 修了
 平成 25 年 第 54 回 石川の伝統工芸展 入選
 金沢西病院 陶壁制作
 平成 27 年 第 10 回 パラミタ陶芸大賞展 大賞 (パラミタミュージアム)
 平成 30 年 第 74 回 金沢市工芸展 金沢市工芸協会会長奨励賞
 令和 元年 金沢マラソン 2019 男子部門入賞トロフィー制作
 令和 3 年 笠間陶芸大賞展 2021 審査員特別賞 / 花里麻理賞 (茨城県陶芸美術館)
 令和 4 年 第 45 回 伝統九谷焼工芸展 奨励賞
 パブリック・コレクション 金沢卯辰山工芸工房、金沢西病院、茨城県陶芸美術館
 パラミタ陶芸美術館

結晶

φ13.0×H3.4cm

チーム九谷展 VI - 四季、春夏秋冬 -

会 期 令和 4 年 11 月 2 日 (水) ~ 8 日 (火)
 会期中無休

開 廊 時 間 11:00 ~ 19:00
 ※ 最終日の 8 日 (火) は 17:00 まで

出 品 作 家 齋藤まゆ 11 月 6 日 (日)
 [在廊予定日] 田村星都 11 月 7 日 (月)
 中田博士 11 月 3 日 (木)
 中田雅巳 未定
 福永幾夫 11 月 6 日 (日)
 見附正康 11 月 6 日 (日)
 南 繁正
 牟田陽日 11 月 6 日 (日)
 谷敷正人 11 月 5 日 (土) ~ 7 日 (月)
 吉田幸央 11 月 2 日 (水) ~ 3 日 (木)
 ※ 恐れながら、コロナ禍の影響で、変更になる可能性があります。

会 場

柿傳ギャラリー
 KAKIDEN GALLERY

〒160-0022 東京都新宿区新宿 3-37-11
 安与ビル地下 2 階
 TEL 03-3352-5118 / FAX 03-5269-0335
 MAIL gallery@kakiden.com



柿傳ギャラリー HP



公式 Instagram



コロナ禍の影響で、会期と営業時間の変更や、
 オンライン展示のみの可能性もございます。
 お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式 SNS にて、
 最新情報をご確認頂ければ助かります。



中田博士

Nakada Hiroshi

昭和 54 年 石川県小松市生まれ
平成 15 年 GALLERY MARONIE 個展 (京都)
平成 17 年 金沢市工芸展 大賞
第 7 回 国際陶磁器展美濃 銅賞
平成 20 年 第 55 回 日本伝統工芸展 入選 以降九回
平成 21 年 第 56 回 日本伝統工芸展 新人賞
平成 27 年 第 23 回 日本陶芸展 特別賞 / 茨城県陶芸美術館賞
令和 2 年 第 67 回 日本陶芸工芸展 東京都知事賞
令和 3 年 石川県文化奨励賞
パブリックコレクション 東京国立近代美術館、茨城県陶芸美術館、菊池寛実記念 智美術館
日本工芸会 正会員

真珠光彩壺

W19.5×D19.5×H19.5cm



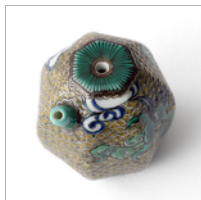
田村星都

Tamura Seito

昭和 55 年 石川県小松市生まれ
平成 16 年 筑波大学 国際総合学類 卒業
毛筆細字 三代 田村敬星に師事する
平成 19 年 石川県立九谷焼技術研修所 実習科 修了
平成 22 年 石川県小松に工房を構える
平成 23 年 「田村星都 作陶展」 西武渋谷店
平成 26 年 「田村星都 作陶展」 日本橋三越本店

細字古今集和歌梅文鳥摘香爐

W7.5×D7.5×H12.5cm

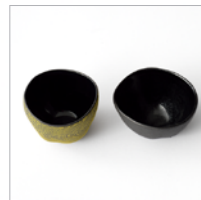


福永幾夫

Fukunaga Ikuo

昭和 36 年 生まれ
 金城短大陶芸部 卒業
 平成 21 年 第 12 回 日本伝統工芸士会作品展 京都府知事賞
 平成 23 年 日本伝統工芸士会 功労者表彰
 全国伝統的工芸品公募展 経済産業省商務情報政策局長賞
 平成 26 年 中部経済産業局長表彰 功労賞
 平成 27 年 創造美術展 文部科学大臣賞
 平成 30 年 北陸創造展 北国新聞社長賞
 通産大臣認定 九谷焼伝統工芸士、創造美術会 北陸支部陶芸部 部長

色絵細密麒麟鳳凰図水滴
 φ4.2×H4.3cm



中田雅巳

Nakada Masaru

昭和 52 年 石川県生まれ
 平成 9 年 石川県立九谷焼技術研修所 基礎コース 卒業
 平成 19 年 金沢市工芸展 最優秀賞 (同 21 年)
 平成 26 年 「Maister der Moderne」 Bavarian States Prize 賞 (ドイツ)
 「現代・陶芸現象」(茨城県陶芸美術館)
 「JAPAN!」(フランス)
 平成 27 年 菊池ビエンナーレ 奨励賞、日本陶磁協会 現代陶芸奨励賞展 奨励賞
 平成 29 年 「陶芸～新世代の技とカタチ」展 (札幌芸術の森工芸館)
 平成 30 年 「近代工芸と茶の湯のうつわー四季のしつらいー」(国立工芸館)
 令和 3 年 北陸工芸の祭典 GO FOR KOGEI 「工芸の時代、新しい日常」[特別展 II]
 令和 4 年 北陸工芸の祭典 GO FOR KOGEI 「工芸 × Design がつくるこれからの暮らし」

[右] SEN 碗 (黒) W8.5×D7.5×H5.0cm
 [左] SEN 碗 (黄) W7.5×D7.0×H6.2cm



南 繁正

Minami Shigemasa

昭和25年 石川県能美郡寺井町湯谷生まれ
昭和46年 日本硬質陶器株式会社 図案室勤務（～昭和57年）
昭和55年 日本伝統工芸展 初入選
昭和57年 (財) 寺井町九谷焼資料館勤務（～平成3年）
昭和61年 日本工芸会正会員に認定される
平成4年 日本伝統工芸展 日本工芸会奨励賞
平成11年 やきもの探訪（NHK-BS2）一四季を奏でる緑の調べー
平成22年 石川県指定無形文化財保持団体 九谷焼技術保存会会員に認定される
令和元年 第60回記念 石川の伝統工芸展 大賞
令和2年 第7回 日本陶芸美術協会展 十四代 柿右衛門記念賞

蓮池 I

W27.0×D27.0×H8.0cm



見附正康

Mitsuke Masayasu

抽選
販売

昭和50年 石川県加賀市生まれ
平成9年 福島武山氏に師事（平成19年独立）
平成24年 「工芸未来派」（金沢21世紀美術館）
平成26年 第9回 パラミタ陶芸大賞展 大賞（パラミタミュージアム）
「Logical Emotion—日本現代美術展—」（スイス、ポーランド、ドイツ巡回）
平成27年 「japanese kogei FUTURE FORWARD」（アメリカ）
平成28年 2015年度 石川デザイン賞
令和元年 第39回 伝統文化ポーラ賞 奨励賞
令和2年 「無形にふれる」（ポーラミュージアムアネックス）
「令和時代の超工芸 和巧絶佳」（パナソニック汐留美術館）
令和3年 「No Man's Land」（兵庫陶芸美術館）
令和4年 「コレクション展 I うつわ」（金沢21世紀美術館）
「ジャンルレス工芸展」（国立工芸館）

赤絵細描小紋茶盃

W10.7×D10.0×H8.7cm



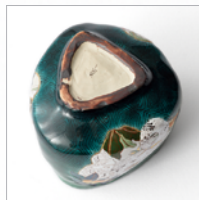
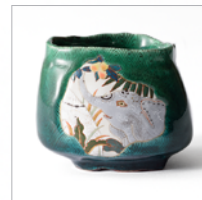
谷敷正人

Yashiki Masato

昭和30年 石川県小松市生まれ
昭和50年 文化勲章陶芸家 二代 浅蔵五十吉先生に師事、10年後独立
昭和59年 石川県九谷焼技術研修所 実務者コース 卒業
平成14年 石川県庁議会庁舎 エントランスホール陶板 制作
平成22年 日本伝統工芸展 初入選
平成24年 能美市美術展 審査委員
平成25年 武腰潤先生主宰の潤青舎設立に参加、同人となる
平成26年 北陸新幹線開業記念の陶板制作
平成30年 九谷上絵協同組合 理事長に就任
令和元年 陶美展 初入選
令和3年 第44回 伝統九谷焼工芸展 会長賞「色絵金銀彩椿紋長角鉢」
石川テレビ「リフレッシュ」出演
日本工芸会 正会員、川端康成学会 会員

鷺の壺

W7.2×D7.2×H14.5cm



牟田陽日

Muta Yoca

抽選
販売

昭和56年 東京都渋谷区生まれ
平成20年 ロンドン大学 ゴールドスミスカレッジ ファインアート科 卒業
個展『A Tale of Two Suns』(Iniva, ロンドン)
平成24年 石川県立九谷焼技術研修所 卒業
伊丹国際クラフト展「酒器・酒盃台」優秀賞
平成26年 「牟田陽日展」日本橋三越本館6階 美術サロン
平成28年 アートフェア東京KOGEI@kassi ~ selected by MITSUKOSHI 東京
第11回 パラミタ陶芸大賞展 大賞 (パラミタミュージアム)
令和2年 作品集出版記念展「美の器」(日本橋丸善)
令和3年 中村卓夫・牟田陽日二人展「やきもの・逸脱・リビングルーム」(銀座和光美術ホール)
個展「眠の器」(銀座葛屋 ATRIUM)
令和4年 「ジャンルレス工芸展」(国立工芸館)

青釉白象謳夏図

W7.4×D7.1×H5.9cm

価格表

	作家名 作品名		本体価格/円 (税込価格/円)	作品サイズ (cm)
1	齋藤まゆ 結晶 [桐箱付・後日]	P5	90,000 (99,000)	φ 130×H34
2	田村星都 細字古今集和歌梅文鳥摘香爐 [桐箱付・後日]	P6	150,000 (165,000)	W7.5×D7.5×H12.5
3	中田博士 真珠光彩壺 [桐箱付・後日]	P7	200,000 (220,000)	W19.5× D 19.5× H 19.5
4	中田雅巳 SEN碗 (黒) [桐箱付・後日] SEN碗 (黄) [桐箱付・後日]	P8	各 40,000 (各 44,000)	W8.5× D 7.5× H 5.0 W7.5× D 7.0× H 6.2
5	福永幾夫 色絵細密麒麟鳳凰図水滴 [桐箱付・後日]	P9	140,000 (154,000)	φ 4.2×H4.3
6	見附正康 赤絵細描小紋茶盤 [桐箱付・後日]	P10	190,000 (209,000)	W10.7× D 10.0× H 8.7
7	南 繁正 蓮池 I [桐箱付・後日]	P11	150,000 (165,000)	W27.0× D 27.0× H 8.0
8	牟田陽日 青釉白象謳夏図 [桐箱付・後日]	P12	145,000 (159,500)	W7.4× D 7.1× H 5.9
9	谷敷正人 鷺の壺 [桐箱付・後日]	P13	80,000 (88,000)	W7.2× D 7.2× H 14.5
10	吉田幸央 金欄手彩色鉢 [桐箱付・後日]	P14	1,000,000 (1,100,000)	φ 36.0× H 14.5

見附正康・牟田陽日 作品の販売方法

見附正康・牟田陽日 作品につきましては、誠に勝手ながら、抽選による販売とさせていただきます。どうかご理解を頂ければ幸いです。具体的な抽選の販売方法は、以下の概略をご覧ください。
詳細は、お手数ですが、弊廊HP (→) をご覧ください。

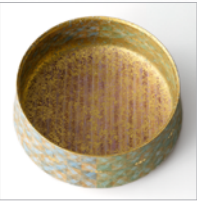


1 ご応募方法

- ・11/2(水)と11/3(木)の二日間、それぞれ11:00~19:00まで、弊廊の店頭にて受付致します。店頭で配布する応募用紙にご記入の上、お申し込み下さい。
- ・メール、電話、手紙、FAXでの受付は、申し訳ございませんが、承れません。
- ・恐れ入りますが、応募点数は、一人の作家につき、お一人様1点とさせていただきます。
- ・11/1(火)夜迄に、弊廊HPにて、出品作品の写真と詳細の情報を公開致します。
- ・ご応募とご当選のキャンセルはお受けしかねます。ご了承の上、お申し込み頂ければ幸いです。

2 抽選方法

- ・11/6(日)14:00~柿傳ギャラリーの展示スペースにて公開抽選会を開催します。(ご出席頂く必要はございません)
- ・ご当選された方のみ、11/6(日)の公開抽選会が終わり次第、11/7(月)の12:00迄に弊廊(03-3352-5118)からお電話にてご連絡をさせていただきます。
- ・ご当選された方に、11/7(月)の12:00迄にご連絡がつかない場合は、恐れながら、ご当選の権利が無くなるものとさせていただきます。



吉田幸央
Yoshita Yukio

昭和 35 年 石川県小松市生まれ
昭和 57 年 金沢美術工芸大学卒業
平成 4 年 伝統九谷焼工芸展 大賞
平成 6 年 高岡クラフト展 金賞
平成 11 年 陶芸ビエンナーレ'99特別賞
平成 12 年 現代茶陶展 TOKI 織部 銀賞
平成 21 年 伝統九谷焼陶芸展 大賞
平成 22 年 日本伝統工芸展 高松宮記念賞
平成 26 年 第 19 回 MOA 岡田茂吉賞展 (熱海市 MOA 美術館)
令和 2 年 Kogei2020 (東京国立博物館表慶館)
未来へつなぐ陶芸—伝統工芸のチカラ展 (国立工芸館 他)
パブリックコレクション 石川県立美術館・小松市立博物館・茨城県陶芸美術館・宮内庁
インディアナポリス美術館・ヴィクトリア&アルバート博物館

金欄手彩色鉢
φ36.0×H14.5cm

160 -
0022

東京都新宿区新宿3 - 37 - 11

柿
子
ギャラリー
KAKI DEN GALLERY